

●表紙イラスト
鶴田一郎(1954年 本渡市生まれ)

表紙のことは
秋の女性はよりシックな装いがいい。内面の美しさが輝きを放つ、知的な大人の女性がより美しく映える季節だからだ。今年の夏に訪れた菊池溪谷もそろそろ美しく紅葉ははじめているところだろう。

●シーン'88撮影(熊本市江津湖)
神原陽一

9月20日、中村汀女さんが亡くなられました。汀女さんの青春時代に想いを馳せ、江津湖のノスタルジックなワンシーンを狙ってみました。

編集後記

熊本県の「日本一周列車」が10月9日熊本駅をスタートします。これは観光キャンペーン「超魅力くまもと計画」の目玉として企画されたもの。2週間の行程で日本全国を列車で回り「熊本」を大いにアピールすることになっています。途中12の停車地では、車輦を開放しての多彩なイベントも予定されておりこの秋、熊本の「日本一周列車」は全国の話題となりそうです。

「びーぶる」の取材で荒尾市の刀匠 松永源六郎さんを探りました。「刀は大切な日本の文化。その良さ、美しさを一人でも多くの人に解ってもらいたい。」穏やかな口調で刀への想いを語る松永さんのひたむきな熱意。それに加えて、「主人がこんなに打ち込んでいるんですもの、私が理解してあげなかつたら……」と自らも刀の勉強に励み、松永さんを陰で支える奥様の姿にただただ感激の1日でした。

ところで、刀から生まれた言葉がたくさんあることをご存知でしょうか。切刃詰まる・付け焼き刃・元の鞘に収まる・しのぎをかける・反りが合う(合わない)・目抜き通りetc.。これらは全て、刀に関することから出た言葉だそう。改めて、日本人と刀との深いかわりに驚いてしまいました。

CONTENTS

1-4	特集 - 熊本の味、再発見 -
5-6	風のコンパス
7-8	ステップ・アップKUMAMOTO ～広がる国際交流～
9-10	30minutes トーキング～北方謙三さん～
11-12	県庁探検隊～第3回 県庁探検隊～
13-14	シーン'88
15-16	ふるさと紀行～八代市～
17-18	びーぶる～刀匠 松永源六郎さん～
19-20	ウォッチング元気図鑑～鹿央町～
21-22	ひのくに偉人伝～加藤清正～
23-24	Information
25	街角便り
26	メディア・ウェイブ～FMK～



●広報メディアMIX



毎週第3火曜日は、熊本にゆかりの深い歴史上の人物にスポットをあてた「熊本の先人たち」をお送りしています。お話は熊本の歴史家、鈴木高先生。先生の興味深いお話しに、キャスターの伊井純子さんは納得したり、びっくりしたり。今回2人はスタジオをとり出して、小川町・三宝寺へ。鉄眼禅師が三宝寺を創建したのは1674年のこと。さて、「救世太子」とまで呼ばれた鉄眼の功績とは…?

番組から、鈴木先生のお話を少しだけ紹介しましょう。「私が小学校の時の国定教科書に、鉄眼のことが出ていましたが、今年の道徳の教科書に再び採用されたということで、懐しく思いますね。鉄眼は、隠元禅師とその弟子木庵のもとで、黄檗宗を学んだ禅師です。当時、お経はとても貴重なもので、お経のない寺が多かったです。そこで鉄眼は、すべてのお経を一つにまとめた『一切経』を作るために、大阪で募金を始めたんです。ところが…」
続きはFMK10月18日放送「鉄眼禅師「初志貫徹の人」」でお楽しみください!

キャスター 伊井純子

短い時間の中で、歴史に残る人物を紹介するのは、たいへんです。どう話をひき出せば知らない人にも分かっていたら、と苦労しています。ところで、FMKの開局以来、私は県庁ダイアリーを担当しています。そのお陰で、県内のことには詳しいんですよ。県の難しい広報内容が、若い層の方へストレートに届くように、分かりやすくお伝えしていきたいと思っています。よろしくね。



FMK「県庁ダイアリー」

FMK7:30am▶7:36am

【内容】

- 月曜日……お知らせ(催事・募集など)
- 火曜日……生活に身近な情報
- 水曜日……頑張ってます!はつらつ人・仲間
- 木曜日……県政トピックス
- 金曜日……レッツ・エンジョイくまもと

今、解き明かされる「鉄眼禅師」の偉業

●「小さなお参り」

古賀 結美子(41才主婦/松橋町)

我家の庭の一隅に義母の希望もあって小さな屋敷神様をお祭りしてから7年になります。我家を訪れる友人・知人の中にはこの神様にすぐ気づく人、全く気づかない人様々で、その反応も「あなたが神様を祭っているなんて……」から「感心ネ。」まで色々でおもしろいものです。建立以来、毎朝大きい井の一つには満杯の水、もう一つには熱いお茶をいれて供え、手を合わせるのが私の一日の始まりです。ある日、ふっと庭の



方に目を向けたら、頭に赤いリボンをつけた3才位の女の子がちょこちょこつと神様の方に走り寄って小さな手を合わせ、ぎこちなく腰を折り、深々と頭を下げているのです。何とかかわいい仕草でしょう。彼女のおばあちゃんが「お宅の前は通る時はいつもですパイ。だれも教えずにですな。」と笑顔で話して下さいました。ほっと心温まるひとこまでした。

●「ちょっと一言」

宮丸 真介(46才 地方公務員/荒尾市)

昨年健康づくりにはじめた水泳が面白くなり休みの日プールへと出かけた。たくさんの人出でにぎやかである。しばらくして休憩のチャイムが鳴りプールサイドのイスに腰をかける。…と年齢23~24才のスラリとした恰好のいい男女2人が私の隣に……。女性の方がバッグの中からサンオイルを出しそして2人で互いにオイルを塗ったり塗られたり。2人の仲むつまじさに嫉妬を感じた訳ではありませんがたくさんの人が泳ぎ楽しむプールでのサンオイルの使用はどうでしょうか? 大きさかも知れませんが明日の社会を背負う若者たち自分達のことを考えるのも勿論大切、しかし公衆道徳ももっと大切ではありませんか? さて私のこの考えに若者たちの反論、批判が怖くもあり興味でもある。

HOTLINE

街角便り

●「交通安全卵、発見」

佐々木 千鶴(30才主婦/山鹿市)

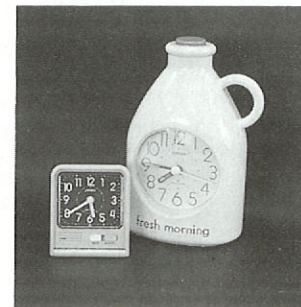


植木町から山鹿市へ国道3号線を北上して走っているとこんなものがあるんですよ。クレーン会社の玄関先のお地藏さんに供えてある卵。ユニークなんです。銘名「交通安全卵」。日付けと「交通安全」のスタンプが押しあてられた地卵なんです。聞くところによると、ここの社長さんが飼っている地鶏の卵とか。良く見るとお地藏さんの横には、交通安全遺児への募金箱が置いてあるんです。とかく募金というと、恥ずかしくてなかなか出来ないものですが、卵の代金として募金箱へお金を入れるというのは、何となく堂々とやれる様な気がしますね。ちなみに卵は、午後二時頃から会社の終わる五時まで、お代はいくらでもとのことです。場所は山鹿市の入り口。山鹿にお越しの際は、思い出して下さいね。

●「ぜひおいでください～水俣のコスモスより」

岡部 ソナエ(アオ/水俣市)

私は、水俣を一望に見渡せる中尾山のコスモスです。美しく着飾り笑顔いっぱい、秋の爽やかな空の下で皆さんをお迎えます。遊び疲れたら、湯の尻温泉でのんびり休憩。あなたも水俣でコスモスの楽しい1日を過ごしませんか。今がいちばんの見頃ですよ。



お便り募集!

みなさんの身近な情報(出来事・季節の変化・風景・感想など)を二百~四百字程度にまとめてお送りください。(採用された方には「風時計」をプレゼント)

●あて先
〒862 熊本市水前寺6丁目18-1
熊本県広報課「くまもとの風」係

たくさんのお便りをお待ちしています。